

校歌に見つめられて

校長室には、下に載せた写真の校歌の額が飾られ、毎日見つめられています。
今月の全校朝会で子どもたちに校歌の世界を話すために、改めて調べ直してみました。

私たちの金屋小学校は、創立して140年を超える伝統のある学校です。この校歌は、記録によると、今から78年前の金屋村金屋尋常高等小学校時代の昭和15年（1940年）に制定されました。

作詞は新潟県糸魚川出身の詩人・作詞家として著名な相馬御風さんがしました。相馬御風さんは、「春よこい」や「かたつむり」などの有名な童謡や、早稲田大学校歌「都の西北」の作詞も手がけています。また、県内で144校、県外で64校と、今現在200校以上の校歌を作詞したことが分かっています。村上市関係では、閉校した学校を抜いて、お隣の保内小や岩船小の校歌を作詞しています。

一方、作曲は群馬県出身の林松木さんで、新潟師範学校で音楽を教えながら、新潟市の内野小、鎧郷小、宮浦中などこちらも数多くの県内の学校の校歌を作曲しています。

そして、調べてみると、たくさんの学校の中で、私たち金屋小学校と同じ作詞相馬御風、作曲林松木の組み合わせの校歌がたった1つあることが分かりました。それは、阿賀町立津川小学校です。今度機会があったら、音源を取り寄せて聞き比べをしてみたいと思いました。

また、糸魚川市にある相馬御風記念館では、現在「相馬御風生誕130周年記念 作詞校歌展」が開催されているとのことなので、こちらも訪れたいと考えています。

さて、校歌の表現する情景は雄大です。

歌詞の一番では、視点を南北、上下と移動させて、学校から見える飯豊連峰の飯豊山（2015m）や越後富士（朝日連峰の鷲ヶ巣山・1093m）を見ています。そして、これらのそびえ立つ山のように、いつも勇ましい心をもちたいものだと言います。

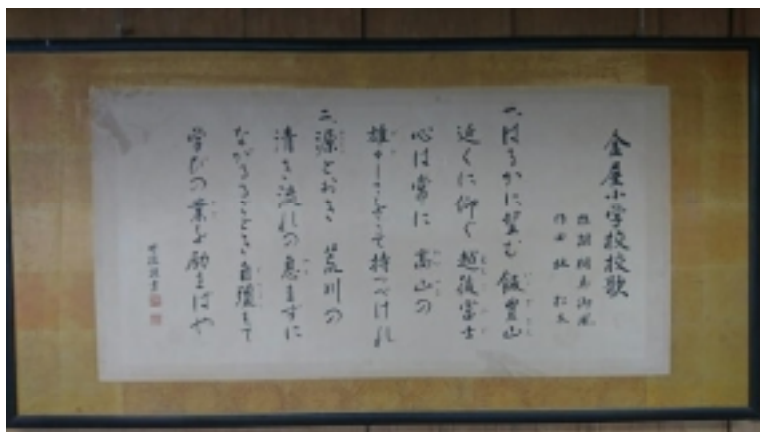
歌詞の二番では、ゆったりとした時間の流れを感じさせます。朝日岳の麓を源流として絶えることのない荒川のきれいな流れ。その流れのように、自分から進んで努め励むことをやめないで、心を奮い起こして学んでいきたいものだと言っています。歌詞の中で使われている【自彊】（自分から進んで努め励んで怠らない）という言葉、これは遙か昔の中国に書かれた『易経』という書物の中にある【自彊不息】に由来するもので、そのために、歌詞の「流れの息まず」が「休む」という字でなく、あえて「息まず」にしたものと思われる。

歌詞全体を通すと、次のようなメッセージを私たちに与えてくれるのではないのでしょうか。

**周りの高い山々のように逞しく、
そして、川の流れのように、いつまでも努力することを怠らないようにしよう**

この校歌に見つめられながら、おそらく歴代の校長先生たちは、このメッセージのように立派な子どもを育てようと努力をしてきたことでしょう。私もその伝統を引き継いでいきたいです。

（文責:校長）



「知育・徳育・体育」評価項目の進捗状況についてお知らせします。

知育「確かな学力の向上」

【評価項目①】

○毎月の学び方アンケートで「友達との話し合いを通して、よく分かったということがあったと思う」と答える児童を毎月80%以上にする。

【評価基準】

前期（5～9月の4ヶ月）後期（10～3月の4ヶ月）で評価する。

- A：4ヶ月とも80%以上
- B：3ヶ月80%以上
- C：0～2ヶ月80%以上

4ヶ月とも90%以上という結果でした。授業に対話の場面をできるだけ取り入れることで子どもたちも話し合いの良さを実感できているようです。また、教員も1学期一人2回ずつ公開授業を行い、授業力の向上に努めました。



3年生理科の様子



6年生社会科の様子

【評価項目②】

○全校テスト（3年生以上はWeb配信問題）において、期待得点（1, 2年生は90点以上、3年生以上は県平均）を上回る児童を全校で国語、算数ともに毎月65%以上にする。

【評価基準】

前期（5～9月の4ヶ月）後期（10～3月の4ヶ月）で評価する。

- A：4ヶ月とも65%以上
- B：3ヶ月65%以上
- C：0～2ヶ月65%以上



2学期から毎週水曜日の朝学習に行っている朝学習GT（ゴールデンタイム）に発展GTという取組を始めました。発展GTでは、学年をぐんぐんコースとじっくりコース2つのグループに分け、問題を「よく読む」ための方法（大事なところに線を引く、○を付ける等）を学んでいます。

徳育「豊かな心を育む」

【評価項目①】

○毎月まいつきのいじめいじめ早期発見そうき はっけんアンケートの「誰だれかにいじめられたりからかわれたりしたことがある」の項目で、「ない」と回答こたしている、または「ある」と答えても2ヶ月つき いじょうけいぞく以上継続じどうしていない児童いじょうを70%以上にする。

【評価基準】

- Ⓐ: 80%以上
- B: 70%以上80%未満
- C: 70%未満 (63人以下)

84.1%という結果でした。毎月のアンケートで「ある」と答えた子どもたちとはすぐ面談を行い、解決策を一緒に考えるときともに必要に応じて保護者の方とも連絡を取り、解決に努めました。



【評価項目②】

○保護者ほごしゃアンケートで「学校は道徳がっこう どうとくに力ちからを入れている」の肯定的評価こうていてきひょうかを95%以上いじょうにする。

【評価基準】

- Ⓐ: 95% (102人) 以上
- B: 85%以上95%未満 (91~101人)
- C: 85%未満 (90人以下)



5年生道徳公開授業参

1学期の「道徳の日」に全学年が道徳の授業参観を行いました。また保護者の方と教員とで「心の懇談会」を行いました。2つのグループに分かれ、「今日の道徳の授業について」や「我が家の心の教育」をテーマに意見交流を行いました。



心の懇談会「下学年グループ」



心の懇談会「上学年グループ」

校長先生の全校道徳。いじめについてわんぱく班で考えました。

体育「健康でたくましい心身をはぐくむ」

<p>【評価項目①】</p> <p>○基礎・基本となる7種目<small>(※下参照)</small>の全ての種目で目標値を達成する。</p>	<p>【評価基準】</p> <p>A：7種目<small>(全ての種目)</small></p> <p>B：5～6種目</p> <p>◎C：4種目以下</p>
---	---

基礎・基本となる7種目とそれぞれの目標値


- ①クロールか平泳ぎか背泳ぎかバタフライで25m以上泳げる児童を4年生以上で75%以上にする。
- ②逆上がりができる児童を低学年で60%、中・高学年で70%以上にする。
- ③後転ができる児童を80%以上にする。
- ④二重跳びができる児童を中学年で50%、高学年で60%以上にする。
- ⑤開脚跳びで自分の腰くらいまでの高さを跳べる児童を80%以上にする。
- ⑥登り棒で自分の身長くらいまで上がれる児童を80%以上にする。
- ⑦雲梯で半分まで行ける児童を70%以上にする。

1学期は外での種目を中心に取り組みました。水泳は69%で目標達成はできませんでした。しかし、練習の成果を発揮する校内水泳記録会では、どの子も精一杯泳ぐ姿を見せてくれました。

2学期は体育での取組はもちろんのこと、未達成の子どもたちを中心に運動強調期間を設け、目標達成に向け指導を行っています。



雲梯・登り棒強調週間

<p>【評価項目②】</p> <p>○1学期と2学期のメディコンタイム後に家庭で次の時間を7日間守ることができた児童と前の月よりも守れた日が増えた児童の割合を80%以上にする。</p> <p>平日は2時間以内<small>(内ゲームは30分以内)</small></p> <p>休日は4時間以内<small>(内ゲームは1時間以内)</small></p>	<p>【評価基準】</p> <p>目標達成児童が</p> <p>◎A：80%以上</p> <p>B：70%以上</p> <p>C：70%未満</p> 
--	--

6月にメディコンタイム（メディアコントロールタイム）を設け、子どもたちにメディアとの正しい付き合い方やメディア漬けの危険性等について指導しました。その結果、5月は75.7%でしたが、6月実施後は、85.9%に向上しました。

11月26日に2回目のメディコンタイムを行います。メディアコントロールは家庭との連携がとても大切です。家庭学習Weekはもちろんのこと、普段からメディアコントロールができる人になれるよう家庭できまりをお子さんと一緒に考えるなどご協力をお願いいたします。